

富士箱根伊豆国立公園における「富士山がある風景一〇〇選」選定と展望地整備の取り組み

日本工営株式会社 社会システム事業部 環境部 森原百合

一. はじめに

富士山は、富士箱根伊豆国立公園に位置し、平成二五年六月に世界文化遺産に登録された。富士山の登山者数は年間三〇万人前後で推移しており、登山初心者や高齢者、外国人利用者等の増加による利用者層の多様化、富士山山体の夏季の利用集中が課題となっている。

一方で、富士山は、国内最高峰の独立成層火山であり、かなり離れた場所からでも眺望できることから、広い地域から多様な眺望を楽しむことができる。地元自治体や観光協会等では、富士山展望地に関連するパンフレットが作成され、利用促進のために活用されている。

富士箱根伊豆国立公園は、平成

二八年二月に指定八〇周年を迎えた。指定八〇周年記念事業の一環として、環境省と関係自治体で構成された「富士箱根伊豆国立公園

指定八〇周年記念事業実行委員会」は、新たに展望地「富士山がある風景一〇〇選」を選定した。また、環境省では、そのうち一〇カ所程度の展望地について整備基本計画を策定した。弊社は整備計画策定業務の受託業者として、展望地の選定手法および整備基本計画の検討を行った。その概要について、本稿で紹介する。

二. 対象地域

富士箱根伊豆国立公園は、昭和十一年二月に富士山地域および箱根地域から成る富士箱根国立公園

として指定された後、伊豆半島地域、伊豆諸島地域を編入し、現在四つのエリアから成る。関係自治体は、東京都、神奈川県、静岡県の一四市一四町八村と多数に及ぶ。展望地「富士山がある風景一〇〇選」の選定にあたっては、関係市町村の当国立公園内にある展望地は勿論のこと、周辺地域の展望地も対象とした。

三. 「富士山がある風景一〇〇選」の選定

富士山の展望地は、既によく知られた地点が多数ある。この度、あえて国立公園として展望地が選定された理由は、富士山周辺での展望地活用の取り組みに、富士箱根伊豆国立公園のもつ魅力を加えて、多くの来訪者に日本のシンボルでもある富士山の魅力「優れた風景と自然、それに根差した文化」をより感じてもらうことを目指したからである。また、関係自治体へのヒアリングを通して、展望地の中には、圧倒的な知名度を誇るがために過度な利用の集中が見られる地点もあることが分かった。

そこで、関係市町村に位置する既存の展望地を収集した上で、次

の二段階の検討により選定することを提案した。一段階目として、

①入場無料であること、②富士山の五合目以上が展望できること、③特定の施設の敷地内ではないこと等を満たす展望地を抽出した。

二段階目として、一段階目で抽出した全展望地について、①保護と利用の観点からの重要度（公園計画上の位置付けやアクセス性等）、

②風景の多様性（景観要素、富士山特有の現象等）、③文化的背景（浮世絵や歌、小説といった芸術・文学作品の題材になっているもの）等を整理した。さらに、関係自治

体や自然保護官等の多様な主体の意見も考慮した上で、地点ごとに一律の評価軸に基づいて評価点を付し、得点の高い上位一〇四地点を「富士山がある風景一〇〇選」として選定することとした。これ

により、多様な切り口での楽しみ方と展望地からの眺望を紹介することが可能となった。また、関係市町村や当国立公園を構成する四つのエリアから満遍なく展望地を選定しているため、利用の分散のために活用することが可能である。

選定された全地点については、関東地方環境事務所Webサイト

に掲載されている。

「富士箱根伊豆国立公園」富士山がある風景
100選「ベーム」 [http://kantoenv.go.jp/
to_2017/post_94.html](http://kantoenv.go.jp/to_2017/post_94.html) (関東地方環境事務所
二〇一七年三月三〇日)

四、展望地の整備 基本計画

富士山がある風景一〇〇選の中から、環境省が整備する展望地の候補として、さらに一カ所を選定した。選定にあたっては、公園計画の観点から環境省として比較的整備しやすい、山頂付近の展望地に偏らぬよう、湖畔などアクセスの良い場所もバランスよく含めることに配慮した。

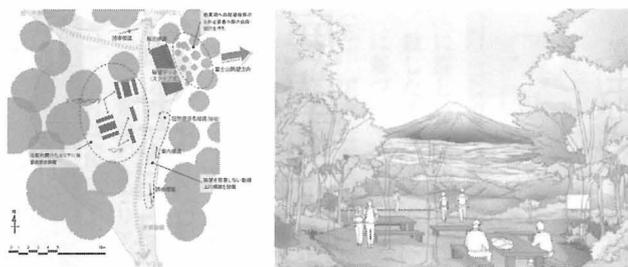
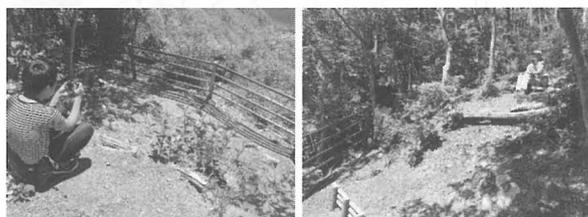


図1 整備計画イメージ例(長者ヶ岳)



【竣工写真(平成28年11月30日撮影)】



【施工前写真】

写真1 中之倉峠展望台 竣工前後の写真

五、展望台の整備例 (中之倉峠展望台)

先述の整備候補地のうち、「中之倉峠展望台(本栖湖西岸園地内)」については、詳細設計を实施了(写真1…中之倉峠展望台

このように選定した展望地について整備基本計画を策定するにあたり、まずは現地調査を行い、地形・地質や植生の状況、既存施設の劣化状況や眺望状況等を把握した。その調査結果から、整備を実施するにあたっての課題等を明確にした上で、展望地施設の新たな整備や改修等を盛り込んだ計画とした(図1…整備計画イメージ例)。

また、展望台の整備によって眺望や写真撮影等に訪れる利用者の増加が見込まれることから、展望台の規模は、利用者動線、富士山の眺望や休憩等の利用勝手、既存樹木への配慮等の比較検討により設定した。設置する標識は多言語表記とし、増加および多様化が見込まれる外国人利用者にも配慮した。

竣工前後の写真)。本展望地は、世界文化遺産地域内に位置し、千円札のデザインにもなった逆さ富士として有名な場所である。

展望台の形状は、現場が急斜面地であるという地形の特性を活かしたものとすること、周辺の自然環境の保全のために可能な限り地形の改変を抑えること等の観点から、階段状のデッキ展望台とした。

また、展望台の整備によって眺望や写真撮影等に訪れる利用者の増加が見込まれることから、展望台の規模は、利用者動線、富士山の眺望や休憩等の利用勝手、既存樹木への配慮等の比較検討により設定した。設置する標識は多言語表記とし、増加および多様化が見込まれる外国人利用者にも配慮した。

六、おわりに

中之倉峠展望台は、現在は工事も無事完了し、平成二八年一月三〇日から供用開始されている。お近くへお越しの際は是非お立ち寄りの上、富士山の絶景をお楽しみいただければ幸いです(写真2…中之倉峠展望台からの眺望)。今後、富士山がある風景一〇

〇選や実際に整備された展望地を活用して、別の展望地からも眺めたい、宿泊してゆっくり眺めたい、また別の季節に訪れたい、といった来訪者が増えることを期待するとともに、美しい富士山の景観が保全されることを願っている。

※富士山特有の現象について…富士山は、朝日や夕陽が富士山の稜線にかかることで美しい輝きを見せるダイヤモンド富士や、夏の赤富士、冬の紅富士のように、限られた時期やエリ

み見られる絶景があることが知られている。



写真2 中之倉峠展望台からの眺望

森原 百合●もりはら ゆり
日本工営株式会社 社会システム事業部 環境部。東京大学大学院農学生命科学研究科修了。二〇〇八年に日本工営株式会社に入社。技術士(建設・建設環境)。環境調査・アセスメント、地域資源の活用計画の検討等を主業務として従事。
(会社概要) 国内外における社会基盤整備や維持管理、電力事業に関わる総合建設コンサルタント。創業者久保田豊の信念「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。」を経営理念とし、環境部では各種事業に関わる環境調査・アセスメントや、公園・緑化計画等の業務を手掛ける。